



CORPORATE PROFILE 2025



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Hitachi High-Tech Solutions Corporation

URL <https://www.hitachi-hightech.com/jp/ja/company/group/hsl/>

HSL-01 2025.04 Printed in Japan

株式会社 日立ハイテクソリューションズ
Hitachi High-Tech Solutions Corporation

Top Message



Purpose

「センシング & コントロール」で 社会課題・顧客課題を解決し人々の未来を支える

Vision

日立ハイテクソリューションズは、社会課題・顧客課題を「センシングとコントロール」の力で解決するテクノロジー&ソリューションカンパニーをめざします

Mission

当社が持つ社会・顧客との太いチャネル・強いフロント対応力で、社会や顧客が抱える各種潜在課題を掘り起こし、当社が保有するコア「センシング&コントロール技術 + SI*ソリューション事業ドメイン」を軸に、日立ハイテクが保有するコア「世界を知ることから変えていく：知る力(見る・測る・分析する)」と、日立グループが持つコア「Lumada/トータルシームレスソリューション総合提案力(IT × OT × プロダクト)」の組合せで、課題解決エコシステムを創生・提案・提供することで、製造業における人手依存からの脱却支援、高効率で省エネな生産工程/プロセスへのイノベーションの実現などを通して、顧客・社会・環境に貢献していきます。

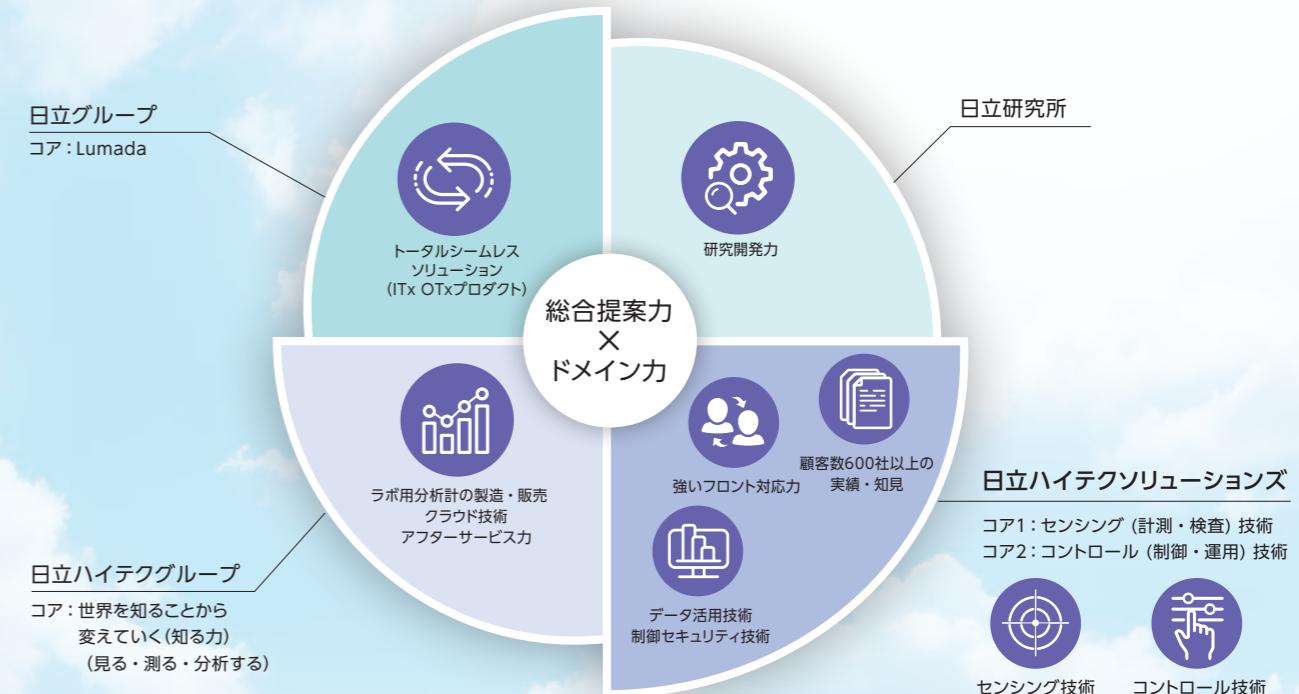
*SI(システムインテグレーション)：顧客の業務内容における課題を分析・コンサルティングし、システムの企画・立案・プログラム開発・ハードウェア/ソフトウェアの選定・導入・保守までを総合的に行う事業

代表取締役 取締役社長 張田谷 雅夫

Advantage & Solution

日立ハイテクソリューションズの強み

日立ハイテクソリューションズができること
センシング(計測・検査) + コントロール技術 + SIソリューション事業ドメイン



Board of Directors and Auditors 役員



代表取締役 取締役社長
張田谷 雅夫



取締役
平松 博信



取締役
高田 哲司



取締役
美柑 俊雄



取締役
山上 直彦



監査役
眞壁 謙二



監査役
大村 浩

社会課題・顧客課題

顧客の課題

- ・人手不足への対応
- ・収益性の向上
- ・生産性向上
- ・歩留まり改善
- ・付加価値の高い製品
- ・多品種少量(変量)生産
- ・市況の早い変化に追従するために製品ライフサイクルを短縮
- ・データ活用、AI活用

日立ハイテクソリューションズの
解決力

日立ハイテクソリューションズの提案

- ・バッチ生産・制御のノウハウ
- ・省人化運転
- ・品質重視の生産が可能な制御
- ・生産リードタイム短縮可能な制御
- ・高付加価値製品の安定生産が可能な制御
- ・きめ細やかなバッチ運転・コントロール制御
- ・製品ライフサイクル
- ・データ経営の実現
- ・セキュリティ対策

貢献分野

人の経験とノウハウへの依存から、制御を中心に4M(人・装置・データ・運転ノウハウ)が密に統合した運転へ

バイオ医薬

バッヂ
制御

バイオ医薬は従来の低分子薬では治療困難な疾患に効果があり、医薬業界で市場が急拡大しています。バイオ医薬の製造には高度な技術が必要で、細胞培養や精製工程で制御技術の向上が課題です。当社のバッヂ制御技術は、この難しい制御技術において製造プロセス効率化や品質向上に貢献しています。

高機能化学

バッヂ
制御

AI技術の成長や普及に伴い半導体の生産量が増加しています。その生産に必要な高機能化学材料も需要が拡大しており、高機能材料の製造プロセスにおいて当社のバッヂ制御技術が安定した生産に寄与しています。

ベース事業

バッヂ
制御

当社が半世紀以上をかけて培った実績・ノウハウ・ナレッジ・顧客ドメイン力で、さまざまな分野にて貢献しています。

- 低分子薬
- 食品
- 汎用・石油化学
- 鉄・非鉄金属
- 上下水道
- 環境=ごみ焼却
- 電力
- ガス

Products & Solution

製造 × DX

インフラ × DX

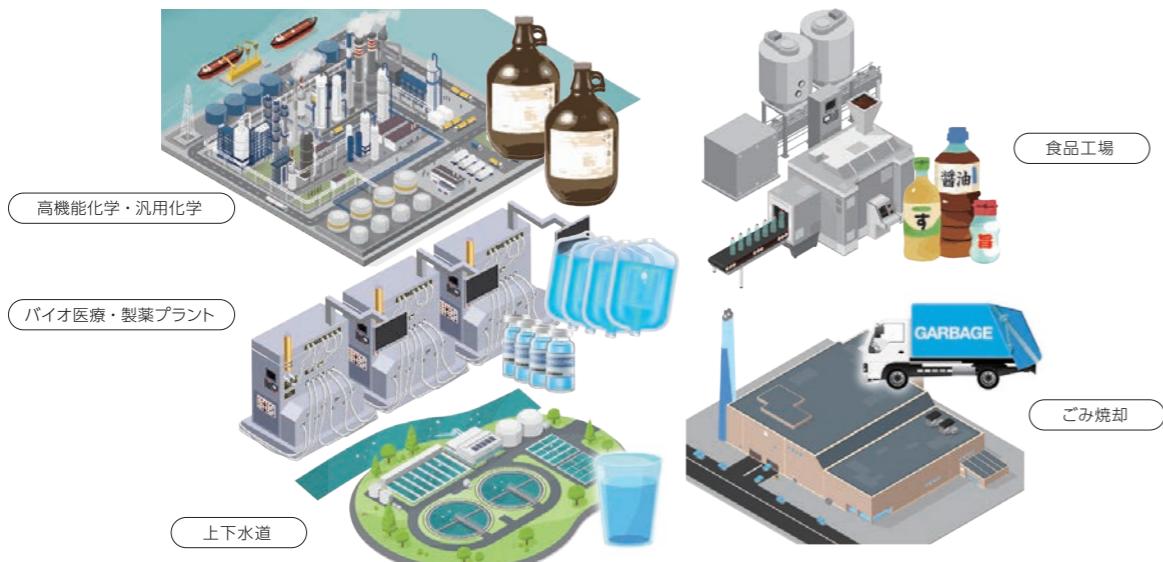
OTソリューション

メーカー機能と商社機能を融合して、
OTソリューションを提供します。

OT : Operational Technology

製造 × インフラ
計測・制御・分析
データ活用・制御最適化

プラント制御とともに制御・運転データの蓄積を行うことで、高度経済成長期から日本の経済発展に貢献してきた制御・運用技術「OT」。生産性向上や省エネ・省人化を実現するためのデータ活用における計測機器、制御システム、データ解析の3つの分野の知識やノウハウを求められています。当社は、化学・食品・医薬などの製造分野、上下水道・ガス・電力・ごみ焼却などのインフラ分野で培った業界知識や、現場における専門知識をもとに、お客さまとともに課題解決に取り組み、最適なソリューションを提案します。



監視・制御システム



化学・薬品・食品などの製造プラントや、環境・エネルギー・プラントなど多くの社会インフラ施設で採用されています。プロセスオートメーションの長期安定稼働や、多品種・変量生産など複雑な制御を必要とする設備の監視制御システムです。1975年以来積み上げてきた実績で、高い操作性のオペレーションソフトと高信頼性のコントローラで快適な運転環境を提供します。セキュリティを担保したリモート監視、製造管理、予兆・診断、AI制御など、データを活用したさまざまなIoTソリューションとも連携し、お客様の生産性向上に貢献します。



総合計装システム(DCS) EX-N01A



製造実行システム (MES)



製造実行システムMESは化学・食品の製造現場における作業ミスの防止、作業の効率化および情報の一元管理をサポートするシステムです。原料の受入から在庫管理・計量作業・投入作業まで製造現場の各種指図・実績管理機能が集約されたパッケージを提供します。



製造実行システム(MES) Cyber Plantシリーズ

品質管理システム (LIMS)



検査データ管理システムLabDAMS®は、分析や品質検査業務で管理される情報をデータベースで一元管理し、業務の効率化や信頼性向上を実現するLIMS(Laboratory Information Management System)です。



検査データ管理システム(LIMS) LabDAMS®

予兆・診断システム

“いつもと違う状態”を高精度に検知し、プロセス異常の早期発見、要因解析の効率化をサポートします。予兆・診断システムBD-CUBE®は、機械学習を用いたプロセスデータ解析ソフトウェアです。設備や品質の異常予兆を早く、高精度に検知し、どの部位を調査すべきか提示します。

予兆・診断システム BD-CUBE®

制御最適化(品質向上・歩留まり向上)

日立開発の新型強化学習技術により、監視・制御システムから出力される過去の運転データを基に学習モデルを構築し、AIによるプロセス制御を行います。生産品質や歩留まりのさらなる向上を監視・制御システム+AI制御システム「RL-Prophet®」によって実現します。

リアルタイムAIプラント制御システム RL-Prophet®

・「制御動作と制御対象の状態変化の関係」を網羅的に整理
・「目標状態に最短で到達収束するために、現状においてどの制御動作を取るべきか」を毎制御周期に演算

リアルタイムAIプラント制御システム RL-Prophet®

データ活用ソリューション

データ活用や先端技術(AIなど)で、お客様の課題を解決する新たなソリューションを提供します。例えば、お客様の製品品質データを高セキュリティなプライベートクラウド上に設置した検査データ管理システム「LabDAMS®」で取得して一括管理、お客様の複数の拠点や部門で共有することで品質不正防止を図ります。さらに取得したデータを予兆・診断システム「BD-CUBE®」で分析することで品質低下や設備故障の予兆を捉えて通知するなど、お客様のデータ活用も支援します。

検査データ管理システム (LabDAMS®) + プライベートクラウドサービス + 予兆・診断システム (BD-CUBE®)

フィールド機器・分析計

長年培った技術と経験により、さまざまなフィールドで活躍しています。過酷な使用環境に耐える安定性と信頼性の確保を追求しています。

多項目水質計 電磁流量計 大口径電磁流量計 插入形電磁流量計 オンラインPCBモニタ

環境・プロセス分析装置

堀場グループとコラボレーションし、さまざまな業界に向けて、大気汚染監視・水質監視システムを提供しています。

大気汚染監視用測定装置 ポータブルガス分析計 工業用水質計 煙道排ガス分析装置 シリカ分析装置 全リン全窒素測定装置

導入事例
第一工業製薬株式会社さま

化学プラント向け製造管理システム [CyberPlant-ChemiFact]

①課題：多品種少量生産を担う工場の最適化
工業用薬剤などの製造販売を行う第一工業製薬さまは製造実行システム(MES)導入に際し、多品種少量生産に伴い多様化する人手による作業のヒューマンエラー防止と品質安定化を課題としていました。また、取得するデータを活用し、生産工程の見直しを進めるお考えでした。

②導入のポイント

- ・ 計量や在庫管理など汎用的な機能の多くが標準パッケージ化されておりシステム設計がしやすいこと
- ・ システムの導入効果最大化と投資の抑制を両立するために、現場の運用変更にまで踏み込んだ提案があつたこと
- ・ 製造に関する原料、製品、作業手順などさまざまなデータが収集でき、品質・生産性向上が図れること

③解決できたこと
システム化による作業の標準化により、作業者の心理的負担を軽減し、製品の品質安定化に寄与した。従来取得できずにいたデータを収集でき、生産工程の問題特定や、原料のトレーサビリティ管理も行うことができた。

④お客様の声・評価
「設計段階から導入後の運用まで、現場目線で一緒に課題解決してくれた。喫緊の課題であるDX推進のビジネスパートナーとしても期待している」と評価いただいている。

導入効果

多品種少量生産を担う工場を最適化するため、作業の標準化と生産工程の見える化が必要だった
汎用的な作業を標準化でき、品質が安定化した。生産工程でデータで見える化できた

Sustainability

健全な経営基盤の確立に向けて、
さまざまな取り組みを行っています。



働き方改革への取り組み

社会構造の変化やライフスタイルの多様化に対応し、従業員一人ひとりがやりがい・働きがいをもって仕事と家庭の両立を実現できるよう、働き方の改革や各種制度の整備を進めています。

具体的には、生産性の高い働き方の実現に向けて、20-20プロジェクト(月平均の残業時間を20時間、年休取得20日)を推進しています。また、「多様な働き方」「コミュニケーション」「心身の健康」の3項目を重点項目と設定し、「ワーク」「ライフ」両面での従業員の幸せ・Well-Beingの実現をめざしています。

仕事と家庭の両立支援では、法改正の動向も踏まえ、育児・介護制度の整備・浸透に努めています。在宅勤務、サテライトオフィス勤務、スポットリモートワークの対象を全従業員とし、フレックスタイム制勤務についても、自律的に一定の幅の中で就業時間を選択可能(非就業日の設定により週休3日も可)とするなど、働く場所・時間のフレキシビリティを高めて自律的に働き方を選択できる「ハイブリッドワーク」を推進しています。また、性別役割分担意識の払拭による女性活躍推進、ワークとライフの両立によるエンゲージメント向上を目的に、男性育休取得率100%をめざし活動しています。



健康経営への取り組み

社会に必要とされる企業であり続けるためには、その価値提供を担う人財である社員の「健康」が重要な経営資源であると認識しています。そこで2021年に健康経営宣言を制定し、社員が心身ともに健康で活力を持って働ける職場環境の整備に向け、さまざまな取り組みを行っています。具体的には「疾病予防」「こころの健康」「ワークライフバランス」の3点を中心実施しています。これらの取り組みが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に2022年度から継続して認定を受けております。今後もより良い健康増進の仕組みを取り入れながら、安心して働く職場づくりに注力してまいります。



人財育成・キャリア

「社員一人ひとりの成長」が会社の成長であると位置付け、社員が自律的に考えチャレンジできる環境の構築や、キャリア開発支援施策に取り組んでいます。教育・研修プログラムでは、日立グループが誇る数百種類以上のプログラムを取り揃えており、業務経験やスキルに応じたカリキュラムを受講することができます。入社時の導入時研修に始まり、スキル向上のための研修、職責や年代に応じた階層別研修、資格取得、自己啓発に取り組む社員を支援する制度やオンデマンド学習など、最新のトレンドや高い専門知識を必要に応じて学べる環境を提供しています。キャリア開発支援では、社員一人ひとりにとっての仕事の意味や意義・価値観を重視した施策を展開しています。今後未来の中心となる社員の自立・自律を支援し、一人ひとりの意思・意欲を組織に活かす仕組みづくりや、組織力・パフォーマンス向上に向け一体感やチームワークを育むための相互理解を促す支援を行っています。自身のキャリアパスについて上司へ相談・共有する機会であるキャリア面談や年代別キャリア研修の実施など、社員の成長意欲の向上や働きがいの醸成にも取り組んでいます。



Sustainability

日立ハイテクグループ一体でサスティナビリティへの取り組みを推進しています。詳しくはこちらのQRコードからご覧いただけます。



環境活動

脱炭素社会の実現

継続して行っている省エネ投資の促進に加え、使用する電力を再生可能エネルギーへの切り替えにより、事業所におけるカーボンニュートラル達成を実現しております。また、2050年度までに原材料の調達から製品の廃棄までのバリューチェーン全体でカーボンニュートラル達成をめざします。

循環型社会の実現

生産活動で発生する廃棄物量の抑制や再資源化率の高い処理業者選定などにより、資源の循環利用を促進しています。また、事業所内の水使用量を監視し、漏水など早期発見することによる水使用量抑制に取り組んでいます。

自然共生社会の実現

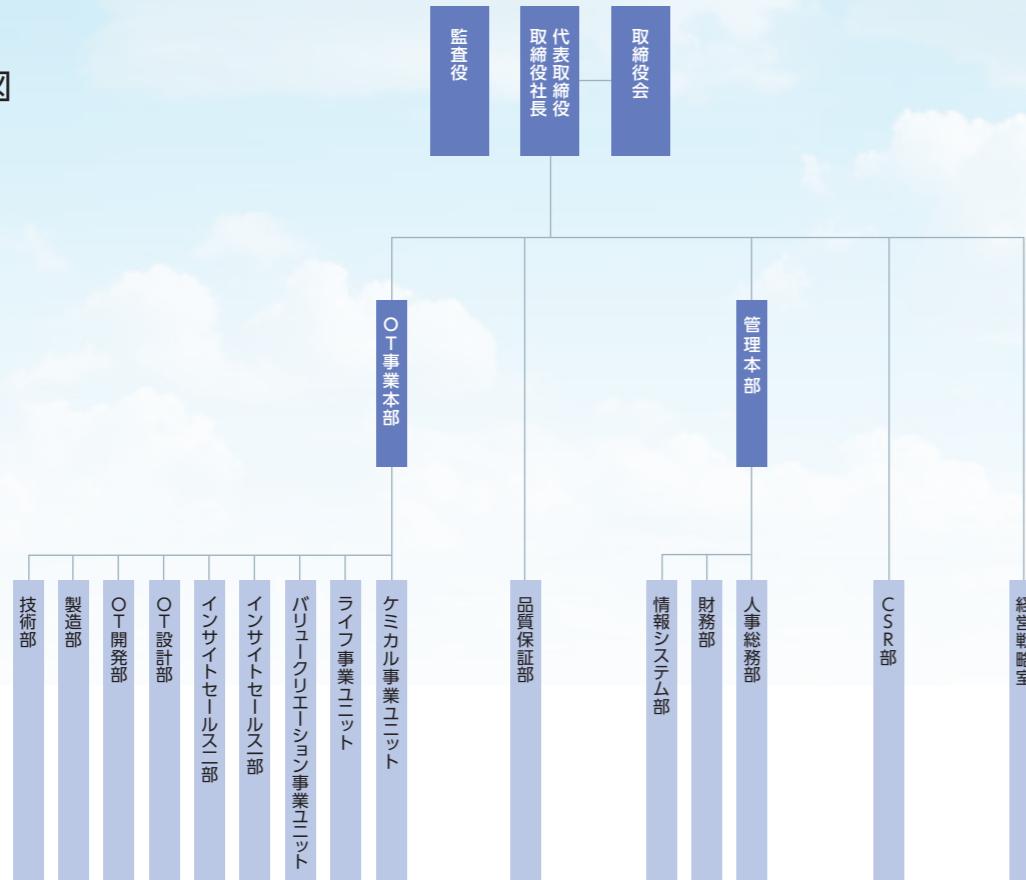
「人と自然がともに豊かになる未来」の実現に向けて、森林保全活動への参加や清掃活動(クリーン作戦)を実施するなど、生物多様性保全への取り組みを推進しています。

環境ISO 14001(EMS)認証取得

環境活動の目的・目標の策定と推進を通して、環境負荷の低減と環境保全への貢献に努めています。

Organization

組織圖



Profile

会社概要 (2025年4月1日現在)

商 号	株式会社 日立ハイテクソリューションズ
設 立 日	1987年10月1日
本 社 所 在 地	〒105-6410 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 (虎ノ門ヒルズビジネスタワー)
資 本 金	4億円
決 算 期	3月(年1回)
従 業 員 数	406人
株 主	株式会社 日立ハイテク(100%)
取 引 銀 行	みずほ銀行 新橋支店 三菱UFJ銀行 虎ノ門中央支店
役 員	代表取締役 取締役社長 張田谷 雅夫 取締役 平松 博信/高田 哲司 美柑 俊雄/山上 直彦 監査役 眞壁 謙二/大村 浩

| 沿革

- | | |
|------|---|
| 1987 | ● 日製エンジニアリング株式会社設立 |
| 2004 | ● 株式会社日製エレクトロニクスを吸収合併、株式会社日立ハイテクノロジーズ(現 株式会社日立ハイテク)の計装事業を承継し、株式会社日立ハイテクトレーディングに社名変更 |
| 2012 | ● 株式会社日立ハイテクソリューションズを吸収合併し、併せて株式会社日立ハイテクトレーディングから株式会社日立ハイテクソリューションズに社名変更、日立ハイテクトレーディングのハード(計装事業・装置事業)と日立ハイテクソリューションズのソフト開発力を融合し、新たなソリューションビジネスを創生 |
| 2013 | ● 株式会社日立ハイテクコントロールシステムズの計装事業を承継 |
| 2022 | ● 株式会社日立ハイテクファインシステムズの鉄道検測装置、HDD/FPD製造・検査装置およびラボソリューション事業を承継 |
| 2023 | ● ICT事業、HDD/FPD製造・検査装置およびラボソリューション事業を株式会社日立ハイテクへ移管 |
| 2025 | ● 鉄道検測装置および周辺検査装置を提供するIS事業を株式会社日立ハイテクへ移管 |

| 括点

本社	〒105-6410 東京都港区虎ノ門1-17-1(虎ノ門ヒルズ ビジネススター) ■ 代表 TEL:03-3504-7773 ■ OTソリューション代表 FAX:03-3504-6157 建設業許可(特定) 電気工事業／電気通信工事業／管工事業
水戸事業所	〒319-0316 茨城県水戸市三湯町500 TEL:029-257-5100 FAX:029-257-5120
北海道営業所	〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西1-1-2(SE札幌ビル) TEL:080-8860-1335 FAX:011-707-3410
茨城営業所	〒319-0316 茨城県水戸市三湯町500 TEL:029-257-5100 FAX:029-257-5120
鹿島営業所	〒314-0144 茨城県神栖市大野原4-7-11(鹿島セントラルビル新館) TEL:080-9202-4433 FAX:0299-92-0566
千葉営業所	〒290-0054 千葉県市原市五井中央東2-6-1(相川ビル) TEL:080-8734-9603 FAX:0436-20-8177
中部営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-13-19(瀧定ビル) TEL:080-8119-2243 FAX:052-219-1869
四日市営業所	〒510-0075 三重県四日市市安島1-2-25(H.T-2ビル) TEL:080-8734-9605 FAX:059-353-0424
関西営業所	〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-3-31(上村ニッセイビル) TEL:080-8420-6927 FAX:050-3153-0700
中国営業所	〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀14-4(JEI広島八丁堀ビル) TEL:080-8119-2249 FAX:082-221-4513
九州営業所	〒812-0026 福岡県福岡市博多区上川端町12-20(ふくぎん博多ビル) TEL:080-8119-2251 FAX:092-271-6307 建設業許可(特定) 電気工事業／管工事業



本社



水戸事業所

【取得事業所】※1:本社・営業所　※2:

【取得事業所】※1:本社・営業所　※2:建設業許可番号:特-4 第18662号

環境 ISO14001 認證番号:EGC

環境 ISO14001 登録番号:EC99J1062 ※1 環境 ISO14001 登録番号:EC99J2015 ※2
品質 ISO9001 登録番号:EC-100-1004-116

品質 ISO9001 登録番号:09 100 6804